

ナス作りで気づかされたこと

尾田蒔小学校 六年 島崎 優希

今年も、おじいちゃんに教わりながら、昨年のミニトマトの体験をいかし、今年は、ナスを作ってみる事にしました。しかも、丸ナス、長ナス、白ナスの三種類に挑戦してみました。

五月の初めに、おじいちゃんと一緒になえを植えました。初めは、水だけをあげて一週間ぐらいしてからなえの間に肥料をあげまし

た。そして、根元が乾かないようにわろをしきました。段々となえが成長して、むらさき色のきれいな花が咲きました。花が見られるのも、自分で野菜作りをしてみないと知ることか出来ないのです。野菜作りって本当にすごい体験なんだと思いました。

やっとなスが出来て、無事に収穫出来ました。時の気持ちは、きっと忘れないし、作った人しか感じられないステキな気持ちなんだなあと思いました。

丸ナスは、天ぷらにして、長ナスは、つけ物にしたり、白ナスは、皮が固かったけど、中はやわらかかった。ので油みそにして食べました。家族に食べてもらったら、
「すごくおいしいね。」と言ってくれました。
ニコニコしながらおいしそうに食べているのを見ていたら、すごくうれしい気持ちになりました。ずっと農業を続けている人達にとって、大変な事よりも、おいしいという言葉と笑顔があるからがんばれるのかなと思いました。

最近のニュースは、もう暑日が続いて米不足や野菜の値段が上がっている。ニュースばかり流れています。私の今まで知らなかった備ちく米がお店に並んだり、農家の人にとって、天気はどうにも出来ない問題で、これからも大変だと思っています。出荷が出来なくなったり野菜をニュースで見た時、大事に育てた野菜が誰にも食べてもらえないなんて、とてもショックでした。私達か、毎日当たり前のように食べている野菜やお米は、食べられるの

か当たり前ではなくて、大変な思いをして農家の人達がかんばって作り続けていてくれるから食べられるんだなと改めて思いました。

これから、もっと食べ物を大事にして、ありかとうの気持ちもこめて、いただきます。『ごちそうさま』と言おうと決めました。

小学生の私でも、少しでも農家の人達の力になりたいし、また家族に美味しいと言ってもらいたいので、かんばって野菜作りを続け

ていきたいと思います。